

埼玉大学(学部入学定員:1,620人)

[取組学部・研究科等: ○教養学部(160人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

多文化理解、日本理解を含む深い教養と実践的な課題解決能力を備えたグローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする。

【構想の概要】

埼玉大学全体でグローバル化対応と国際通用性の高い教育の設計を進めつつ、教養学部が先導的な役割を担い、単位取得を伴う海外留学と厳格な成績評価に基づく海外インターンシップを軸とするグローバル人材育成を推進する。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

海外協定校(米国の州立大学)の教育課程をモデルとし、シラバスを充実させ、能動的な学修と授業外における学修時間の確保を促進するとともに、授業のナンバリングを導入し、学修成果の確認を行うためにルーブリックを作成する。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

学位授与の方針などに加えて教育活動の規模や内容等、教育の国際連携、大学の戦略、留学生への対応、外部評価結果の内容など教育情報を日本語と英語で発信する。

○ 事務体制のグローバル化

英語による実践力を備えた本務専任職員を配置し、かつ海外における職員のSD研修を行い、職員のグローバルな資質向上を図る。また、規則・手続書類の多言語化を進める。



〈International Development 授業風景: メキシコ大使への質疑〉

■ グローバル人材として求められる能力の育成

○ 多文化理解、日本理解を含む深い教養

専門的な深さと広さ、必要な汎用的能力の涵養を図るように設計された教育課程において、国際標準的なカリキュラムをしっかり学び、高い学修成果をあげることを目指す。そこで身につく教養は、多文化のコラボレーションの輪の中で中心的な役割を果たすことができるような、多文化理解と日本理解に裏づけられたものとする。

○ 実践的な課題解決能力

短期の「体験型」ではない、きめ細やかな事前・事後指導と厳密な成績評価を伴う海外インターンシップを通して、現場における「課題解決」のための資質、スキルを身につける。

○ グローバルに活躍できる資質

グローバルに活躍するためには高い英語力が必要であり、その資質を育むためには、海外留学経験が有効である。2セメスター相当以上海外に滞在し、海外の大学における成績基準の評価をクリアし、単位を取得してくる留学を促進する。

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

現行の帰国子女入試に加えて、大学入学前に留学を経験した受験生から入学者を選抜する海外留学経験者特別入試を実施する。当該入試における選抜は、高校在籍中の留学経験・TOEFL等のスコア・学業成績・面接に基づいて行う。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

習熟度別クラスに加えて、グローバル人材育成事業に即したクラス設置を行うとともに、TOEFLとIELTSの試験対応に特化した英語教育クラスの設置、アカデミック・ライティングのための個別指導、少人数語学教育、留学前準備教育を行う。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

教員の公募は原則として国際公募とし、選考においては外国語による教育経験や海外での教育経験を重視する。また、積極的に外国人教員を採用する。

○ グローバル教育力向上のための取組

海外協定校におけるFDを参考としつつ、グローバル教育力向上のために実践的なFD講習を実施する。加えて、海外協定校より講師を招聘し、FDに関するテーマ指向のワークショップを行うとともに、海外協定校において教員のFD研修を行う。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

早期の留学前準備教育を実施し、海外留学を適切に動機づけるための授業を開設する。また、海外留学支援オフィスを設置し、留学のための情報を一元的に収集して提供するとともに、留学に向けた個別指導を行う。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

海外留学支援オフィスは、留学志望の学生と相手大学との協議の上、ラーニング・アグリメントを作成するとともに、留学中の指導・相談も担う。留学後の学生を対象としたスキルアップの授業群を開設し、留学経験を活かした就職の支援を行う。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

本事業において設定したグローバル人材の具体的な指標は、次の条件をすべて満たすことである。

- (1) 国際基準の成績評価に基づくGPAにおいて2.8以上をとること
- (2) 事前・事後指導の授業を経た厳格な成績評価を伴う海外インターンシップ・プログラムを修了すること
- (3) TOEICにおいて700点以上をとること
- (4) 2セメスター以上の単位取得を伴う海外留学をすること
- (5) 多文化理解科目の単位要件4単位以上を充足すること
- (6) 日本(文化)理解を進めるための、英語による授業「日本理解教育プログラム」4単位以上を充足すること
- (7) 英語以外の第2外国語単位要件4単位以上を充足すること

本構想において実現する達成目標

全 学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語カスタンダードを満たす学生数				40人	50人	60人	70人
うち海外留学未経験者数 (A)				10人	10人	10人	10人
海外留学経験者数 (B)		27人	26人	30人	40人	50人	60人
卒業[予定]者数 (C)		200人	200人	200人	200人	200人	200人
比率 ((A+B)/C)				20.0%	25.0%	30.0%	35.0%
教養学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC 700		40人(10)	50人(10)	60人(10)	70人(10)
	海外留学経験者数	27人	26人	30人	40人	50人	60人
	3カ月未満	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	3カ月～1年	27人	26人	30人	35人	40人	50人
	1年超	0人	0人	0人	5人	10人	10人
卒業[予定]者数		200人	200人	200人	200人	200人	200人

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。